

第6回 花火大会のあり方を考える会

会議録

【日 時】 令和6年4月5日（金）13:00～14:00

【場 所】 市民交流プラザふくちやま 3-2、3-3

【出席者】 （委員） 9名（別紙参照）

（事務局） 産業政策部 西畑部長、山田次長
産業観光課 田中係長

（関係機関） 京都府、福知山警察署、福知山消防署

1 開会

2 開会挨拶

会 長：3月20日に開催した第5回会議において、提言書（案）について議論を行い、提言の軸を「適正な規模の設定」と「責任体制の確保」にすること、また、提言に付随する諸対策として、「露店対策、雑踏対策、交通対策、救護対策、火災対策、自然災害等の対策」を盛り込むことを決定した。市の関与については、どのような立場で関与すべきかを明確化する必要があることを確認した。提言書をどのようにまとめるかについては、正副会長に一任いただいたため、3月22日に正副会長と事務局で協議を行い、提言書（修正案）を作成した。その後、事務局が委員に持ち回りで説明を行い、意見の集約を行った。当初は、意見集約後、提言書を市長に提出する予定であったが、提言書（最終案）の協議も公開で実施し、透明性を確保したうえで、とりまとめを行った方が良いのでは、との意見があったため、第6回会議を開催させていただくことになった。本日、提言書（最終案）を事務局より報告いただく。次第の協議事項にある、「提言書（最終案）」について意見交換を行い、考える会の最終的な総意としたい。

3 協議事項

（1）説明

第5回花火大会のあり方を考える会まとめ

事務局より説明（第5回会議録及び会議資料を参照）

（2）意見交換

提言書（最終案）について…資料1

会 長：特に議論いただきたい部分を中心に進めていく。6ページの「議論の経過」は、本提言のメインになる部分である。「ア 福知山市の関与について」「イ 花火大会における事故発生時の補償体制及びその他の安全確保体制」「ウ 露店対策に関して」は第5回会議から変更になっているがこの内容でよろしいか。

委 員：異議なし

会 長：次に9ページの「提言内容」の「(1)花火大会の前提となる事項」の「ア 責任体制の確保」は第5回会議から変更になっているが、9ページから10ページについて、この内容でよろしいか。

委 員：異議なし

会 長：次に11ページ以降の露店対策など「花火大会実施あたっの各対策」は、この内容でよろしいか。

委 員：異議なし

会 長：14ページの「おわりに」は、正副会長で作成したが、この内容について意見や感想はあるか。

委 員：これまでの会議で議論を重ねてきたため、本日の会議では提言書について意見が出なかったのだと考える。「おわりに」の「メルクマーク」という言葉の意味を教えていただきたい。

会 長：「何らかの目標に至る途中」「マイルストーン」「道しるべ」といった意味であり、今後も花火大会のあり方を議論していく上で、この提言書が目標や道しるべの役割を果たしてほしいと思っている。

委 員：この後、正副会長より福知山市長に提言書が提出されるが、どれくらいの時期までに福知山市より回答を得る予定であるか。

事務局：提言書を受け取った後、福知山市の方向性を示す具体的な日程は定めていないが、速やかに提言書の内容を精査して対応を検討し、方向性を示していきたいと考えている。

会 長：提言書の最終案に承認いただける委員には挙手をお願いしたい。

委 員：全員挙手

会 長：最終案は原案のとおり承認された。会議終了後には正副会長から福知山市長に提言書を提出する。提言書の提出は、福知山市役所 301 会議室で午後 3 時 30 分から午後 4 時 15 分まで予定している。

4 その他

委員：提言では、福知山市に対して、「花火大会が開催された場合、花火大会終了後、花火大会の運営や事故防止対策等の検証を行う会議を設置すること」を求めている。「考える会」が地域活性化や安心安全な花火大会のあり方を提言した責任、また「おわりに」の部分で、福知山市が本提言を受け、今後どのような対応し、議論を行っていくのか、各委員が注視していきたい、としているため、例えば、「考える会」の委員を中心に「検証委員会」を設置することが考えられるのではないかと思う。

会長：「考える会」が提言をおこなった以上、花火大会が開催された場合、提言がしっかりと反映されていたのか、安全対策等は十分であったのかなどについて、検証をするべきという考えも一理ある。検証を行う会議を設置するのは、あくまでも福知山市であるが、委員からそのような意見があったことは、提言書提出の際、市長に申し添えたい。仮に設置となった場合、各委員には委員就任の依頼があるかもしれないため、ご理解、ご協力をお願いしたい。

5 閉会